



吉美小だより

綾部市立吉美小学校
令和6年12月24日号

「人を大切にする」子ども・教職員のいる学校

<学校教育目標>

自立と貢献 ～夢をもち 仲間とともに 未来を切り拓く 子どもの育成～

<教育スローガン>

「笑顔・元気・夢いっぱい そして 思い合い」

子どもたちは「賢くなって」「できることを増やして」 本日2学期を終えました。

今年の秋は、11月になるまで半袖で過ごす日が多く、冬などやってくるのかと思ったほどでしたが、12月に入ったとたん、やはり日本には「四季」があるのだと実感しています。おまけに今年の冬は「大雪」なんて予報も聞こえてきます。ほどほどの寒さと雪であることを願っています。

さて、本日24日（火）に2学期の終業式を迎えました。夏休みが終わっても猛暑が続き、運動会練習も屋外で行うことをためらう2学期の始まりでしたが、運動会・音楽交流会・社会見学（校外学習）・持久走記録会・小学生駅伝競走大会・人権月間の取組、ふるさと先生にお世話になった学習やクラブ活動、そして、日々の学習を通して、子どもたちはそれぞれに、「賢くなって」「できることを増やして」2学期を終えることと思います。保護者の皆様には、今学期も本校の教育活動につきまして、ご理解ご支援をいただきましたことに厚くお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

子どもたちは、明日から2週間の冬休みをそれぞれの家庭・地域で過ごすことになります。引き続き、我が子のみならず、吉美の子どもたちを温かく見守り、時にはよくないことをしていたら注意をしていただけると幸いです。それでは、よいお年をお迎えください。

校長 塩尻 竹弘
吉美小学校職員一同

11/25（月）持久走記録会

予定していた2日間がどちらも雨になり、11/25（月）に校内で実施をしました。2度の延期にも関わらず、多くの保護者・ご家族の皆様、地域の方々にお越しいただき、声援を送っていただきました。ありがとうございました。



低学年



中学年

高学年



人権月間の取組 11/15～12/12

本校では、上記の期間を人権月間と位置づけ、人権学習を集中的に行ったり、なかよし班活動「なかよしフレンド」で異年齢で遊んだり、集会を開いたりしてきました。最後の日には「なかよし集会」として、各学年の取組の振り返りもしました。そして、みんなにこんな話をしました。

「応援される人間になる」・・・これは、大谷翔平選手が高校時代に書いた「目標達成シート」の中にある目標の一つです。応援される人になるために必要なことは、ルールが守れる人、嘘をつかない人、暴力をふるわない人、そして、何より「相手のことを一生懸命考えることができる人」です。吉美の子どもたちが、大谷選手のような大リーグ選手やトップアスリートになってくださいとは言いません。でも、多くの人から『応援される人』になってほしいと思っています。

人権週間とは

昭和23年（1948年）12月10日、国際連合総会において、全ての人民と全ての国とが達成すべき共通の基準として、「世界人権宣言」が採択されました。これは、基本的人権尊重の原則を定めたものであり、人権保障の目標や基準を初めて国際的にうたった画期的なものです。我が国では、12月10日を最終日とする1週間（12月4日から12月10日）を「人権週間」と定め、昭和24年（1949年）から毎年、全国的に人権啓発活動を特に強化して行っています。